

地域課題解決支援プロジェクト 「姫新線を活用した観光振興」協議会 取組実績

1 参加自治体

津山市、新見市、真庭市、美作市、新庄村、勝央町(6市町村)

2 コーディネーター

株式会社日本旅行岡山支店

3 取組実績

【令和4年度】

各市町村が抱える現状の把握や課題とともに、姫新線沿線市町村それぞれの観光素材やその魅力について現地視察等を通じて改めて整理・共有し、来年度実施事業（モデルツアーの実施、観光資源としての特産品開発、沿線地域の魅力に関する情報発信）についての検討を行った。

第1回協議会（5月11日）

自己紹介

スケジュールの共有

各自治体の現時点での課題及び強み、弱み、取り組みたい事項について共有



第2回協議会（6月22日）

第1回協議会の振り返り、他地域の取組事例に関する講演

講演テーマ『鉄道プロジェクトの取組と事例紹介』

株式会社日本旅行（日本旅行総研） 経営管理部新規事業室長 砂子 隆志 氏



第3回協議会（7月22日）

第2回協議会の振り返り、地域共生に関する講演、ディスカッション

講演テーマ『J R西日本が考える地域共生とは』

西日本旅客鉄道株式会社岡山支社 ふるさとおこし本部 本部長 伊東 暁 氏

ディスカッション

姫新線沿線自治体間での共通テーマ、共通軸の掘り起こし

第4回協議会（8月30日）

第3回協議会の振り返り、ワークショップ、現地視察に関する協議

ワークショップ

ファシリテーター 株式会社 mononofu 代表取締役 清水 秀樹 氏

第3回協議会で設定された共通テーマを用いてマーケティング視点による戦略設計を行い、視察での精査ポイント、今後の事業イメージの明確化につなげた。

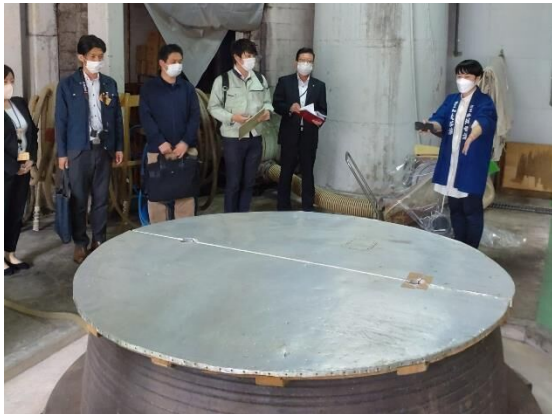


参加市町村内相互視察

① 津山市、新見市、美作市（10月12日） 参加者 11名

② 真庭市、新庄村、勝央町（10月19日） 参加者 14名

地域や産品を視察するとともに、それぞれの視察地が行っている取組を知り、今後の事業展開の検討に活かした。



第5回協議会（11月18日）

参加市町村内相互視察の振り返り、次年度以降の取組について、旅行商品造成・販売に関する紹介

視察参加者のレポート結果をもとに意見交換した後、次年度以降の取組として株式会社日本旅行から『SAKU 美 SAKU 楽で行く「姫新線貸切列車の旅」』の事業提案・説明があった。

『地域と連携したおとなびの旅行商品造成・販売について』

株式会社日本旅行 ツーリズム事業本部

おとなび・ジパング商品部マネージャー 小岩 大悟 氏

第6回協議会（1月18日）

第5回協議会の振り返り、各市町村から検討したツアープランの発表、ディスカッション

次年度事業として『SAKU 美 SAKU 楽で行く「姫新線貸切列車の旅」』事業を実施するという各市町村の意向を踏まえ、各市町村において検討したツアープランを発表するとともに、そのツアープランの旅行商品化に向けて必要な要素の洗い出しなどのディスカッションを行った。

第7回協議会（2月21日）

第6回協議会の振り返り、次年度事業に関するディスカッション

前回協議会で発表した各市町村の案をたたき台に、日本旅行から、旅行商品化の提案を受け、ツアープランの具体化を進めた。また、共通のキャッチフレーズやロゴデザインについても検討した。

【令和5年度】

令和4年度に作成した事業計画に基づき、特製弁当「森の宝箱」の開発、認知度向上と誘客拡大を図る大阪でのプロモーション、観光列車「SAKU 美 SAKU 楽」の姫新線貸切運行を組み入れたモデルツアーの実施、ECサイト「Discover West mall」への姫新線沿線地域の特産品セットの掲載、ギフトカタログの作成等を行った。

第1回協議会（令和5年5月22日）

自己紹介と令和5年度実施事業のスケジュール確認

特製弁当「森の宝箱」の試食、アンケート実施

大阪でのプロモーション実施に係る協議



第2回協議会（令和5年9月29日）

実施したプロモーション及びツアーの状況報告とそれぞれのアンケート結果についての共有・分析を行った。

10月以降実施予定のツアーについてやECサイトへの特産品セット掲載に向けた協議を行った。



第3回協議会（令和6年1月11日）

実施したツアーの状況報告とアンケート結果の共有・分析を行った。

来年度以降の自走的取組みに係る協議を行い、来年度以降の協議会市町村においては、

- ・森の芸術祭を念頭に置いた観光コンテンツの整備や磨き上げ、ツアー実施のPR
- ・実証ツアーのアンケート結果を踏まえたおもてなしの磨き上げ、PRの継続・強化
- ・協議会でのノウハウを活かした近隣市町村との連携事業の展開
- ・各市町村での特製弁当「森の宝箱」の活用

の4つの方向性に向けて、取り組んでいくこととした。

活動報告会（令和6年2月20日）@県立図書館デジタル情報シアター

2年間の取組みや成果等を発表した。